

外国語活動における学習指導案の形式は、以下のようになっています。ご覧になる際は、下記のことを参考にしてください。

## 外国語活動学習指導案

○年○組 ○○名 指導者 ○ ○ ○ ○

リード文…今回の授業で、検証したいことについて述べてあります。

### 1 単元名 「○○○○○○」

### 2 目 標

※ 本単元で行う活動内容と親しませたい内容を指導目標として述べてあります。

### 3 単元のつながり

※ 単元の系統的なつながりを示してあります。

### 4 単元設定の理由

### 5 子どもの実態

※ これまでの活動経験や生活経験、発達の特徴から子どもの実態を分析し、述べてあります。

### 6 本時の指導に当たって

※ 単位時間のコンテを作成する際には「授業を創る観点」「コミュニケーションの視点」から、活動内容を決定し、述べてあります。

### 7 実際

### 8 言葉や表現、準備について

※ 本単元で主に扱う言葉や表現について述べてあります。

【word & expression】

My name is ~. I'm seven years old.  
Let me try.

※ 必要な教材や教具、資料について具体的に述べてあります。

【preparation】

- |  |  |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> CDラジカセ        | <input type="checkbox"/> 教師用フラッシュカード（くだもの） |
| <input type="checkbox"/> 英語CD（音楽用鑑賞CD） | <input type="checkbox"/> 児童名前カード           |

## 7 本時の展開

※ 指導上の留意点については、活動における留意点ができるだけ明確になるように述べてあります。

### (3) 実 際

時間	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
3	<p><b>Greeting</b></p> <p>1 はじめのあいさつをする。 Good afternoon. How are you? I'm fine thank you, and you?</p>	<p>○ あいさつでは、教師が数人の子どもたちと会話を行って例を示し、練習では自由に相手を見付け、あいさつできるようにする。</p>
3	<p>2 手拍子を入れながら、楽しく歌う。 〔sing a song of "Head, Shoulders, Knee and Toes"〕</p>	<p>○ 教師の唇や口の開け方、舌の使い方などをよく見て、歌うようにする。</p>
3	<p><b>Review</b></p> <p>3 カードを使って、前時に習った表現の復習をする。〔いろいろな形〕</p>	<p>○ いろいろな形について発音し、既習事項を振り返る。</p>
5	<p>4 形バスケットをする。</p>	<p>○ フルーツバスケットを行い、ゲームを通していろいろな形を言えるようにする。</p>
15	<p><b>Today's topic</b> (めあての確認)</p> <p>5 名前と年齢の表し方を聞き、言い表す。 What's your name? My name is ○○. How old are you? I'm seven years old.</p> <p>Hello. My name is ○○. I'm seven years old. Thank you.</p>	<p>○ 名前については、日本語で表す言い方を用いるようにし、自分を指差しながら話せるようにする。</p> <p>○ 練習では自由に相手を見付け、あいさつできるようにする。</p>
14	<p>6 「私は誰でしょう」ゲームをしよう。</p> <p>・グループに分かれる。 ・1人が学級内の誰かになって、その人の名前と年齢を英語で言う。 ・グループの他の子どもが、その人は誰か日本語で答える。</p> <p>Let me try.</p>	<p>○ グループに分かれて、学級内の友達について名前や年齢を発表し、誰かを答えられるようにする。</p> <p>○ 発表する際には、「Let me try.」と言って、元気よく手を挙げられるようにする。</p>
2	<p><b>Greeting</b></p> <p>7 おわりのあいさつをする。 Thank you very much.</p>	<p>○ 本時の活動で分かったことや言えるようになったことを発表できるようにする。</p>



授業の展開に当たって、わたしたちは4つの授業を創る観点や5つのコミュニケーションの視点から、学習活動を展開することとしました。

#### 【授業を創る観点】

- 方法を学ぶ
- 練習する
- 使用する
- 興味を抱かせる

#### 【コミュニケーションの視点】

- 1対1の場面をつくる
- 必然性のある場面をつくる
- 相手意識をもたせる
- 目的意識をもたせる
- インフォメーションギャップを起こさせる